

令和7年度 MFKsみらい塾

宗像・福津・古賀地域未来の地域リーダー育成プログラム



活動報告書

主催：宗像・福津・古賀地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
後援：福岡県教育委員会

MFKsみらい塾とは

MFKs（宗像・福津・古賀）地域の中学生を対象に将来、様々な分野で活躍する「リーダー」を育成するプログラムです。それぞれの夢や目標の実現に向けて、新たな発見をしながら他者と協力し、課題を乗り越え、努力する人になることを目指しています。

1 主催

宗像・福津・古賀地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
（宗像市、宗像市教育委員会、福津市、福津市教育委員会、古賀市、古賀市教育委員会、福岡県）

2 後援

福岡県教育委員会

3 開催日程

令和7年8月6日（水）～8月9日（土）
於・福岡県立少年自然の家「玄海の家」（宗像市神湊1276）

4 参加状況

募集対象：宗像市・福津市・古賀市在住の中学生
参加生徒数：24名

今年度のプログラムの様子はコチラ



〈 本 編 〉



〈 ショート編 〉

講師紹介

クレシーニアン氏 (北九州市立大学基盤教育センターひびきの分室 准教授)

米国・バージニア州生まれ。北九州市立大学准教授。むなかた応援大使。2023年11月 日本国籍取得。「前世は間違いなく日本人」と盛んに言われる程、日本語と日本文化をこよなく愛する福岡県民。三児の母。「和製英語」「多様性社会」「言葉と文化」等、幅広いテーマで講演及び執筆活動も精力的に行う。著書多数。テレビ、ラジオ出演多数。



川原 佳代 氏 (認定NPO法人人口シナンテス 教育担当)

北九州市出身。広島大学卒業。北九州市で特別支援学校に4年勤務後、結婚、退職。平成10年、夫が外務省入省、タンザニア・スーダンにて5年半生活。平成17年、夫が外務省退職、スーダンで医療活動(NPO法人人口シナンテス)を開始。夫の退職を機に帰国。北九州で講師、教諭として、17年間特別支援教育に携わりながら、スーダンから日本に研修に来た方をサポートするなど同法人を支援。令和4年退職。活動地のスーダンやザンビアでの自らの体験やロシナンテスの活動、スーダンの内戦を通して感じた平和の大切さ等を交え小中学校を中心に出席授業を行っている。



藤井 博文 氏 (株式会社増田桐箱店 代表取締役社長)

1987年、福岡県生まれ。普通高校を卒業後、台湾に語学留学。2007年に帰国し、家業である株式会社増田桐箱店に入社。2012年、代表取締役社長に就任。2014年には、桐箱の加工技術を活かした自社ブランド「kirihaco (キリハコ)」を立ち上げ、BtoB領域へと展開を広げ、その後も海外市場への進出などに取り組んでいる。



山口 覚 氏 (津屋崎ランチLLP 代表)

津屋崎ランチLLP代表/慶應義塾大学大学院特任教授

1969年、福岡県北九州市生まれ。1993年、九州芸術工科大学環境設計学科を卒業後、鹿島建設のランドスケープデザイン部に入社。その後、財団法人国土技術研究センター、NPO法人地域交流センターを経て、2009年に福岡県福津市津屋崎へ移住し、「津屋崎ランチ」を立ち上げる。古民家再生や移住支援、起業家育成などに取り組みながら、「対話」の文化を全国に広める活動を行っている。現在は、津屋崎ランチLLP代表、慶應義塾大学大学院特任教授を務めるほか、東明館中学校・高校の理事、LOCAL&DESIGN株式会社の代表取締役、一般社団法人まち家族の代表理事としても活躍している。



古田 厚子 氏 (株式会社 ASPREAD 代表取締役)

九州国際大学客員教授。28年間メディア業界の第一線で活躍する現役タレント。人材派遣会社の代表、一児の母でもある。また大学の講師や大手企業研修、古賀市キッズキャリア教育など延べ7000人の幅広い人材教育に従事。全国にクライアントを持つ。



コーディネーター紹介

深山 翔平 氏 (一般社団法人TJC教育サポート 理事長)

福岡県久留米市出身。教育学、特別支援教育を専攻。世界一周、小学校教員を経て、子ども・保護者・企業を「教育の力」でサポートし全ての方がよりよい人間関係をつくり、よりよく過ごすことが出来るように、2019年に一般社団法人TJC教育サポートを創設。子どもたちには自然体験キャンプやマネーキャンプなど様々なコンセプトの体験活動を提供。オンラインでは子ども向けにリーダーシップ教育や目標達成メソッドを教える講座だけでなく、保護者向けの自立教育プログラム「家庭教育の学校」を主宰し、全国から200名以上の参加者が集まっている。また、企業向けの人財コンサルタントとしても研修・コンサルティングを行い、社員が自ら動く「自立型組織」の構築に多数貢献している。



活動報告

1日目 Schedule

9:00 ~ 開講式	13:30 ~ グループワーク
9:30 ~ オリエンテーション	17:30 ~ 夕食
12:00 ~ 昼食	18:30 ~ 講義
	20:00 ~ グループワーク
	21:00 ~ 就寝

「MFKsみらい塾」がスタート。参加生徒は緊張した面持ちで会場の玄海の家に入ってきました。

開講式では、宗像・福津・古賀地域未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会の西川会長（福岡県青少年育成課企画監）から激励をうけました。

開講式後のオリエンテーションで、PM理論が説明され、そこではパフォーマンス、メンテナンスの軸における4つのマトリクスでリーダーのあり方について学びました。

午後からは、グループワークを行いました。グループワークでは、①地域の強み・課題を見つける、②目指す地域像を決める、③そうなるための「強み」「できること」を1つに絞る、④自分たちにどんなことができるか具体的に考えていく、の4点をグループ内で決めていき、最終日までに完成させていくことになりました。



夕食後、クレシーニ アン氏から「Who Am I? 『国際理解』と『アイデンティティ』について考えよう」をテーマに講義いただきました。アン氏からは相手を理解しようとする姿勢の重要性が強調されました。アン氏は自分で考え調べて自分の意見を持つことの意味、若者が意見を発信していくことの重要性、アイデンティティを自分で決めることの大切さを伝えました。また、日本での辛い経験や無意識の偏見、言葉の力について語り、互いを理解し合うことの必要性を伝えました。

講義後、グループワークで講義の感想や設定された課題へのアプローチを模索している姿がありました。



2日目 Schedule

6:30 ~ 起床・朝食	13:00 ~ アドベンチャープログラム
9:00 ~ グループワーク	16:10 ~ グループワーク
10:30 ~ 講義	17:30 ~ 夕食
12:00 ~ 昼食	18:30 ~ 講義
	20:00 ~ グループワーク
	21:00 ~ 就寝

午前は、前日に引き続きグループワークを行い、その後、川原 佳代氏から「アフリカから学ぶ～今の自分たちにできること～」をテーマに講義いただきました。川原氏は医療・教育・水の課題解決に挑む活動を紹介し、日本の子どもたちにはチャンスをつかみ諦めず努力してほしいと語りました。また、民族衣装体験もあり、アフリカを身近に感じる機会となりました。

午後のアドベンチャープログラムでは、少人数で課題解決型活動に取り組み、自分の意見を積極的に発言することや相手の意見を真剣に聞くことで、協力することの大切さや難しさを学び、自己理解を深めました。体験を通じて自分の新たな一面に気づき、次の行動を考えるきっかけとなりました。参加生徒は楽しさとともに「今の自分」を理解し、次にどう進むかを考え、チャレンジする意欲を高めました。

グループワークでは、1日目の内容に加えて、川原氏の講義、アドベンチャープログラムを通じた内容をもとにリーダーシップとは何かをグループで考え、最終日の発表に向け学びを深めました。

夕食後、藤井 博文 氏から「桐箱店からみた事業承継と地域資源の可能性の最大化のチャレンジ」をテーマに講義いただきました。藤井氏は、若くして家業の桐箱店を継ぎ、下請け依存から脱却し、自社商品を開発することで経営を立て直しました。商品のPRを強化し、手作りでありながらも購入しやすい価格帯の商品を展開しています。また、その確かな技術は高級品の包装にも採用され、多様な用途で高い評価を得ています。



藤井氏は「伝承を守り、伝統を変えていく」ことの大切さ、相手に合わせて調整し挑戦し続ける力の重要性を参加生徒に伝えました。参加生徒は実際に桐箱に触れ、受け継いだ技術を未来のために変えていくことの大切さを学びました。

講義後、初日から続く内容をもとにグループワークを行い、意見を活発に出し合っていました。



3日目

Schedule

13:00 ~	グループワーク (市職員との交流)
16:10 ~	グループワーク
6:30 ~	起床・朝食
17:30 ~	夕食
9:00 ~	グループワーク
18:30 ~	講義
10:30 ~	講義
20:00 ~	グループワーク
12:00 ~	昼食
21:00 ~	就寝

午前中は、グループワークを行い、山口 覚 氏から「対話によるコミュニケーションの技術」をテーマに、トークフォークダンスを行いました。スタッフも含め全員で輪になって、講師から出される話題を向かい合ったパートナーと話し合う中で、コミュニケーションの難しさやパートナーが思っていることなどを学べる、貴重な体験になりました。ワークを通じ認識の違いを体験し、自分

の考えを素直に伝える大切さを学びました。山口氏は、トークフォークダンスでは聞く姿勢を重視し、多様な人と対話する練習を実施しました。言葉の力と副作用を踏まえ、相手の話から気づきを得ることが対話の本質だと語られました。

午後は、市職員との交流を含めたグループワークを行いました。課題を解決するために必要な費用や技術などの疑問を積極的に質問しているグループや、市職員から課題の内容に関してアドバイスを受けるグループもありました。

夕食後、古田 厚子 氏から「自己理解を深める『コミュニケーション学』」をテーマに講義いただきました。古田氏は、不安は真剣に向き合う証であり、コミュニケーションは送り手と受け手の相互理解だと説明しました。また、時代はトップダウン型から共感・支援型へ移り、傾きや傾聴といった非言語の力が重要になっており、発表には事実や推論に加え、感情を込めることが大切だと語りました。参加生徒は実践や発表練習を通じ自信を高め、より良い発表へつなげました。講義後、参加生徒は翌日のグループ・個人発表に向け、就寝時間ギリギリまで発表内容をまとめていました。



4日目 Schedule

6:30 ~ 起床・朝食
9:00 ~ グループワーク
12:00 ~ 昼食
13:00 ~ グループ・個人発表
15:00 ~ 閉講式
16:00 ~ 解散



最終日はグループワークを行い、この4日間での体験・学んだことを振り返りながら、模造紙を使って「ふるさとの未来の姿」、「これから自分たちができること」をテーマに、それぞれグループ・個人発表を行いました。

4日間のグループワークにおいて、子どもたちは意見を出し合い、時にぶつかり合いながら議論を進めていきました。中には何度も振り出しに戻った班もあり

ましたが、そのような班ほど最後には結束が強まり、発表に向けてまとまりを見せました。付箋を使ったKJ法（意見を付箋紙に書き出し、出された意見を分類しながら考えを整理する方法）で地域の強みや課題を整理し、自分たちができることを考える中で、交通の便を良くするアプリの提案や、遊ぶ場所を増やすための商業施設の設置、交通手段を活用したクエスト型の取り組み、海洋ごみ問題の解決といった多様な発想が生まれました。発表の場では緊張しつつも、一人ひとりが自分の考えや思いをしっかりと表現しました。

個人発表では、リーダー・オブ・ザ・デイ（1人1回リーダーを体験してみる取り組み）の経験を振り返り、リーダーシップのあり方について考えを共有しました。PM理論を踏まえ、学校生活にどう活かすかを発表しました。「積極的に発言したい」「意見をまとめ活発に交流したい」「失敗しても挑戦したい」など前向きな言葉が多く、自分にできることを実践しながらコミュニケーション力を高めたいという思いが伝わる時間となりました。

グループ・個人発表では、見学に来ていた保護者の方々、関係者から発表内容について質問を受け、参加生徒は、自分の言葉で丁寧に答えるなど、活気のあるグループ発表となりました。



発表終了後、閉講式を行いました。伊豆宗像市長から参加生徒に修了証書が授与され、福井福津市長及び田辺古賀市長（代理 桐原教育部長）から参加生徒への労いと今後の活動を期待する言葉をいただき、プログラムが終了しました。



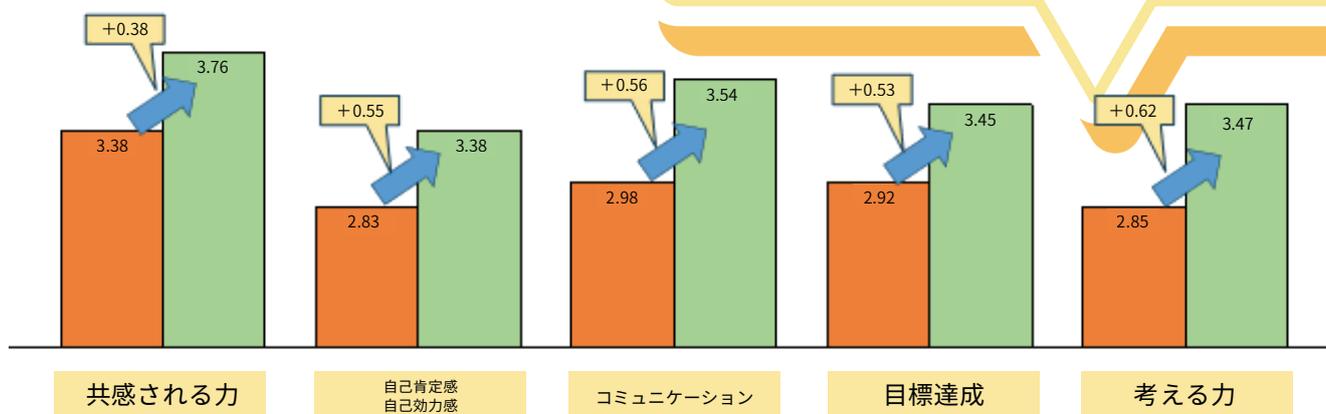
アンケート結果

参加生徒がプログラムを通してどのような力を向上させることができたかを把握するため、以下の通りアンケートを実施しました。

アンケートの実施方法

- ・プログラムの初日と最終日に、同様の質問に回答してもらった。
- ・5項目（共感される力、自己肯定感・自己効力感、コミュニケーション、目標達成、考える力）について、参加前後で向上するかどうか調べた。
- ・1つの項目に対し、4つの質問で構成し、1～4の4段階で評価

アンケート結果



質問例

1. 共感される力

何かしてもらったらすぐに「ありがとう」と感謝の言葉を伝える

2. 自己肯定感・自己効力感

自分の長所や強みについてよく分かっている

3. コミュニケーション

話を聞くときは、目を見て聞き、意識してうなずいて聞いている

4. 目標達成

自分では難しいことは、積極的に誰かに頼ることができる

5. 考える力

新しい企画やアイデアを生み出すことが好きだ

参加生徒の声

視野を広く見る事、物事を多方面から考える事が大事だとわかった

学校生活などの話し合いの場面でPM理論、SL理論などのリーダーシップを活かしているいろいろな人を支えていきたい

研修で協力することの大切さを学んだので、主に学校でグループワークのときに活かしたい

研修でコミュニケーション力の高め方、緊張のほぐし方を学んだので、人に初めて会うときや緊張するときに活かしたい

まずは自分に出来る事を考えて、困ったときには周囲に相談する

説得力を高めるために根拠がはっきりした意見を言う
また、無理にすべてを実現しようとせず、まずは少しずつ確実に進める



宗像・福津・古賀地域
未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会
(宗像市、宗像市教育委員会、福津市、福津市教育委員会
古賀市、古賀市教育委員会、福岡県)

問合せ先
宗像・福津・古賀地域
未来の地域リーダー育成プログラム実行委員会事務局
(福岡県青少年育成課内)

住所 〒812 - 8577 福岡市博多区東公園 7 番 7 号
TEL 092 - 643 - 3402 (平日 9 : 00~17 : 00)
Mail ikusei02@pref.fukuoka.lg.jp

